

事後評価結果（平成24年度）

担 当 課：東北地方整備局 道路計画第一課
 担当課長名：隅蔵 雄一郎

事業名	一般国道13号 <small>しゆねざか</small> 主寝坂道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起 点	自： <small>やまがた もがみ かねやま とびのもり</small> 山形県最上郡金山町大字飛ノ森	延長		9.9 km	
至	至： <small>やまがた もがみ まむろがわ のぞき</small> 山形県最上郡真室川町大字及位				

事業概要

一般国道13号は、福島県福島市から秋田県秋田市に至る延長約377kmの主要な幹線道路である。主寝坂道路は東北中央自動車道の一部を形成し、山形県最上郡金山町から真室川町に至る延長9.9kmの自動車専用道路であり、平成19年度に全線暫定2車線で供用している。

事業の目的・必要性

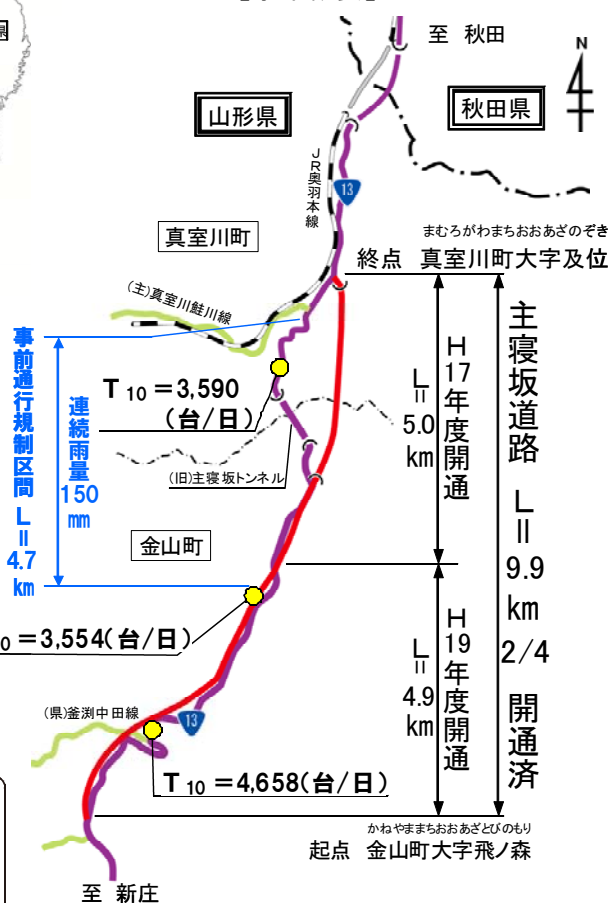
主寝坂道路は東北中央自動車道の一部を形成し、事前通行規制区間の回避、劣悪な道路構造の解消および広域ネットワーク形成による産業振興を目的とした事業である。

事業概要図

【位置図】



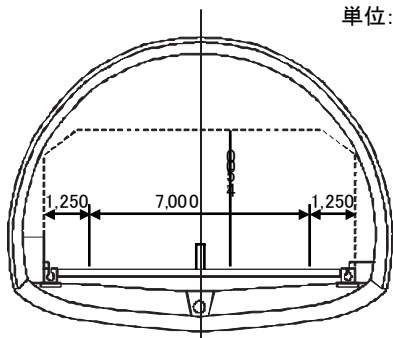
【事業概要】



【標準横断面図】

【標準横断面図(トンネル部)】

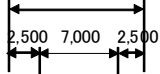
単位:mm



【標準横断面図(盛土部)】

単位:mm

【暫定】12,000 (2車線)



【完成】22,000 (4車線)

凡 例

— 評価対象区間

— 直轄国道

— 主要地方道

事業 の 効 果 等	事業期間	事業化	平成8年度	用地着手	平成11年度	供用年	(当初) -/-	変	動	-倍	
		都市計画決定	-	工事着手	平成12年度	(暫定/完成)	(実績)H19/-				
	事業費	計画時 (暫定/完成)	(名目値)330億円/480億円 (実質値)361億円/508億円		実績 (暫定/完成)	(名目値)358億円/- (実質値)385億円/-		変	動	1.08倍	
	交通量 (当該路線)	計画時 (暫定/完成)	(H17再評価時) - / 7,100台/日		実績 (暫定/完成)	(H23) 3,431台/日 / -		変	動	-%	
	旅行速度向上		46.2km/h → 66.5km/h (供用前現道→当該路線) (供用前年次)H17年度 (供用後年次)H23年度			交通事故減少		11.0件/年 → 0.0件/年 (H6) (H22)			
	費用対効果 分析結果 (再評価)	B/C	総費用		524億円		総便益		739億円		基準年
		1.4	事業費: 175億円 維持管理費: 48億円		走行時間短縮便益: 627億円 走行経費減少便益: 90億円 交通事故減少便益: 22億円				平成17年		
	費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	総費用		487億円		総便益		572億円		基準年
		1.2	事業費: 436億円 維持管理費: 52億円		走行時間短縮便益: 500億円 走行経費減少便益: 55億円 交通事故減少便益: 17億円				平成24年		
	事業遅延によるコスト増		費用増加額		-億円		便益減少額		-億円		
事業遅延の理由											
客観的評価指標に対応する事後評価項目											
<ul style="list-style-type: none"> ●円滑なモビリティの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる。 ●災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅に迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 <p style="text-align: right;">他17項目について効果の発現が見られる</p>											
その他評価すべきと判断した項目											
・特になし											
事業による 環境 変化	環境影響評価に対応する項目										
	・環境影響評価実施要項(昭和59年閣議決定)に基づき環境影響評価を実施。										
その他評価すべきと判断した項目											
・特になし											
事業を巡る社会経済情勢等の変化											
<ul style="list-style-type: none"> ・高規格幹線道路等の整備状況 <ul style="list-style-type: none"> H11.11 尾花沢新庄道路 川原子～新庄間 暫定供用 H15 院内道路 事業化 H18.11 尾花沢新庄道路 野黒沢～川原子間 暫定供用 H23.3 新庄北道路 暫定供用 H24 泉田道路 事業化 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> H23.3 東日本大震災発生 											
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性											
・事業当初の目的に対し効果を発現しており、更なる事後評価及び改善措置の必要はないと考える。											
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性											
・特になし											
特記事項											
・特になし											

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。